

令和3年度 山口大学教育学部附属光学園経営ビジョン

教育目標

広い視野をもち、未来の社会をたくましく切り拓く人間の育成

目指す子ども像

本質を見極めようとする子
(ねばり強く考える子)

多様性を尊重し協働できる子
(自他を大切にできる子)

社会との絆を深める子
(地域に愛される子)

情報発信・地域貢献を通じた愛される学園づくり

重点取組事項

知性

子ども自身がもつ問いと、連続性・発展性のある学びを具現化する小中一貫教育の推進

自己

地域とのつながりの中で、自己肯定感を高め、所属感が実感できる豊かな心の醸成

共生

目指す子ども像の実現に向け、地域とともに学校課題の改善に邁進できる開かれた学校づくり

一人1台端末とネットワークの活用による教育改革への挑戦

附属光学園の使命

普通教育

教員養成

教育実践研究

地域貢献

附属光学園の理念・目的

自己

生活を拓く・自己を活かす

知性

知を愛する

共にある

共生

後期 (8~9年次)

社会の中で、強く、正しく、共に生きる

知の提案者

共同参画者

自然・社会・人間を見る眼をもつ
多種多様な情報交流の中で、全体を総合的にとらえる子どもたち

校内外諸関係の中で判断する
参画的な関わりの中で、個と共同の行動判断ができる子どもたち

中期 (5~7年次)

共同の場で、自己の言動を振り返り、深めてゆく

知の探求者

共同制作者

気付きをより深く追求する
能動的な活動の中で、事物の関係を考え続けてゆく子どもたち

共同の空間をつくり語り合う
相互的な関わりの中で、より妥当な方向を見出す子どもたち

生徒会基本方針:「自らを愛し、治め、由となる附中」 年間統一テーマ:「煌羽」

前期 (1~4年次)

生活の場で、一人一人が気付き、考え、行動する

知の発見者

共同体験者

「知」と「美」を愛し味わう
生活の場で感性を高め、気付きを発表できる子どもたち

互いを尊重し助け合う
協働的な関わりの中で、他者の多様性を共有する子どもたち

児童チャレンジ目標: 見つけよう 友だちのよさ 地域のよさ 自分のよさ



校時表

	小学校	中学校
始業	8:25	8:10
1校時	8:40~9:25	8:40~9:30
2校時	9:30~10:15	9:40~10:30
3校時	10:35~11:20	10:40~11:30
4校時	11:25~12:10	11:40~12:30
昼食 休憩	12:10~12:50 清掃 13:15~13:30	12:30~13:00
5校時	13:35~14:20	13:25~14:15
6校時	14:25~15:10	14:25~15:15
	下校 ●1・2・3年生 14:50~15:20 ●4・5・6年生 15:20~15:45	清掃 15:25~15:40 終学活~16:00 部活動 ~18:00(夏季) ~17:00(冬季)

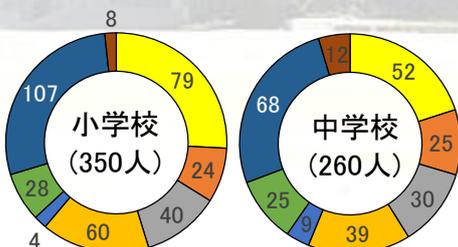
スクールバス (小学校)

登校<発時刻>		下校<着時刻>	
徳山 NTT ビル前	6:51	普賢寺裏	15:40
周南緑地公園 水泳場北側	7:03	光 駅	16:02
下松駅南口	7:23	下松駅南口	16:14
光 駅	7:49	周南緑地公園 水泳場北側	16:31
普賢寺裏	8:10	徳山 NTT ビル前	16:46

児童・生徒数

前期	小学校	第1学年	62人	350人	610人
		第2学年	69人		
		第3学年	59人		
		第4学年	53人		
		第5学年	61人		
中期	小学校	第6学年	46人		
		第1学年	84人	260人	
後期	中学校	第2学年	95人		
		第3学年	81人		

□ 浅江
■ 島田
■ 光井
■ 室積
■ 大和
■ 柳井・熊毛郡
■ 周南・下松
■ その他



年間主要行事 (コロナ感染状況により一部変更)

- 4月 入学式
中1スタートプログラム
小学校1年生を迎える会
- 5月 小5宿泊学習
(周南大田原自然の家)
前期教育実習
- 6月 研究発表大会
- 7月 小6修学旅行
(関西2泊3日)
- 8月
- 9月 後期教育実習
- 10月 小学校友情バザー
小学校秋季大運動会
中学校「附中祭」
- 11月 中学校オープンスクール
小学校「附小祭」
(オープンスクール)
小4・中2大学訪問
- 12月 持久走大会
- 1月 小学校入学選考会
中学校第一回入学選考
公開授業研究会
- 2月 小学校編入学選考会
中学校第二回入学選考
- 3月 小学校お別れ遠足
小6・中3年生を送る会
卒業証書授与式
中2修学旅行
(関東3泊4日)



中1スタートプログラム



教育実習



附中祭

部活動 (中学校)

※任意加入制です。
※朝練習は実施していません。

- バスケットボール部 (男女)
- バレーボール部 (女)
- 卓球部 (男)
- ソフトテニス部 (男女)
- 軟式野球部 (男)
- サッカー部 (男)
- 陸上競技部 (男女)
- 弦楽部 (男女)
- 美術部 (男女)
- サイエンス部 (男女)

● 研 究

●小・中合同による研究のあゆみ

- 平成23年 <小中連携教育研究> 「学ぶ意欲」を育てる（平成23年～25年）
- 平成26年 " 新たな価値を創造する子どもを育てる（平成26年～28年）
- 平成29年 <小中一貫教育研究準備期間>
- 平成30年 <小中一貫教育研究> 小中一貫教育への歩みを通して、深い学びの在り方を探る（1年次）
～「知を愛する」子どもたち、「共にある」子どもたち～
- 平成31年（令和元年）" 小中一貫教育への歩みを通して、深い学びの在り方を探る（2年次）
～「見方・考え方」が働く問いを子どもがつかむためには～
- 令和 2年 " 小中一貫教育への歩みを通して、深い学びの在り方を探る（3年次）
～問いで学びを紡ぐ～

●令和3年の研究

研究主題

小中一貫教育への歩みを通して、深い学びの在り方を探る（3年次） ～ 問いで学びを紡ぐ ～

本校は小中一貫教育校として、以下の特徴をもつ研究活動を実践しています。

- ・「めざす子ども像」の共有
小・中の両教職員が「本質を見極めようとする子」「多様性を尊重し協働できる子」「社会との絆を深める子」の育成をめざし、その具現化に取り組みます。
- ・「問いで学びを紡ぐ」授業づくり
小中一貫カリキュラムをベースとしつつ、子どもが本気で解決したいと思い、「問い」を自分事としてもつ授業づくりと単元構成について、小・中教員がグループを組んで考えます。
- ・「共有知見型研究」の推進
全体仮説を立て、その検証を行う「理論先行型研究」を改め、個々の研究授業から見えてきたこと語り合い、共有する「共有知見型研究」を推進しています。また、年間を通して「授業実践→結果の分析と共有→カリキュラムの見直し→授業実践」のサイクルを回しています。



●小中一貫教育研究発表大会（オンライン）

期日：令和3年6月26日（土）
内容：公開授業、協議会、講演
講師：慶応義塾大学 教授 鹿毛雅治 先生

●授業について語り合う会（オンライン）

期日：令和3年8月6日（金）
内容：公開授業、授業づくり講座

●小中一貫教育研究協議会（オンライン）

期日：令和4年2月11日（金）
内容：公開授業、研究協議

●特別の教科道徳学びの会（オンライン）

期日：令和3年10月23日（土）
内容：GIGA スクール時代の道徳科

●理科授業づくりセミナー

期日：令和3年8月27日（金）
内容：理科授業づくり講座

●発行物 「研究だより」（本学園 Web ページから御覧いただけます。）

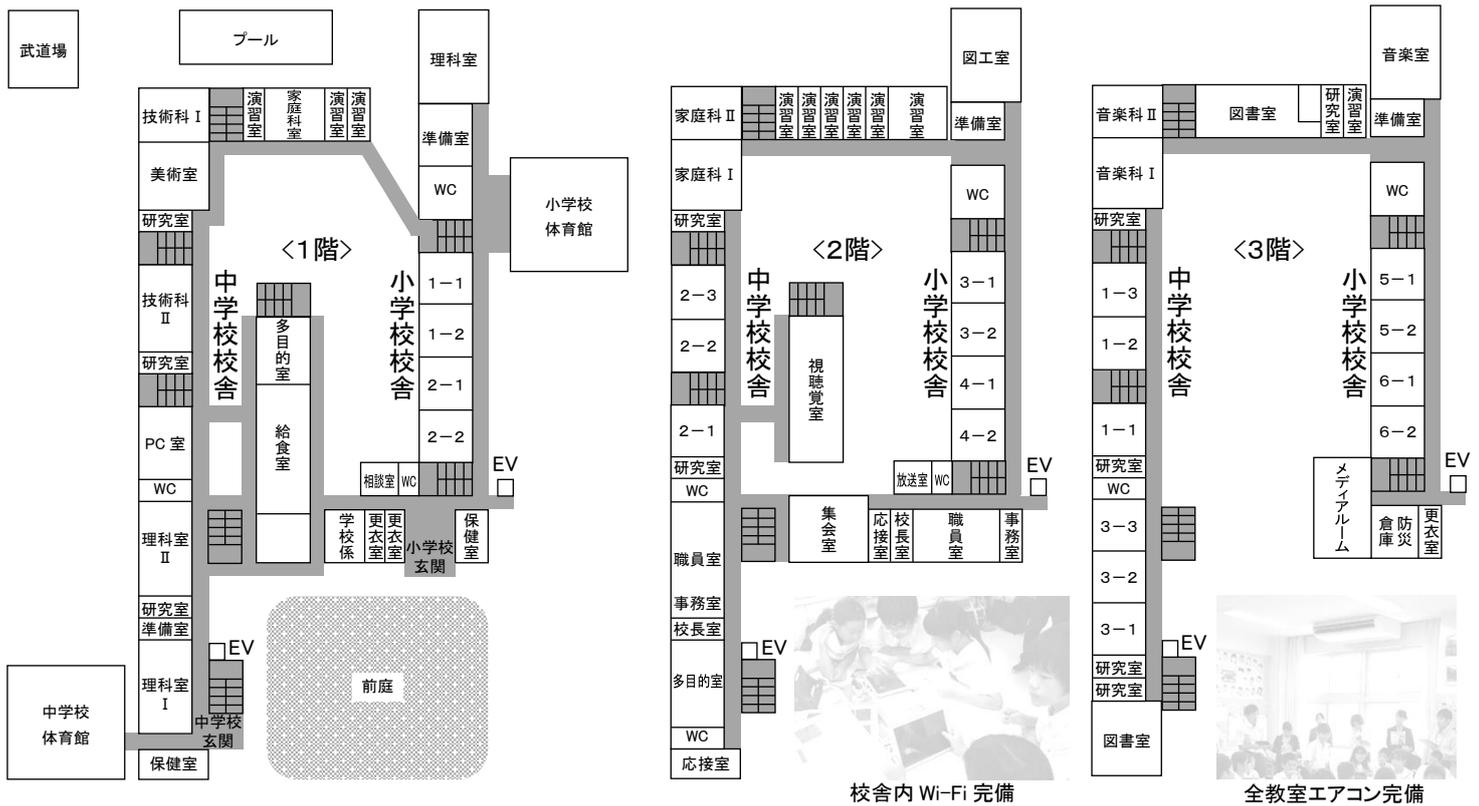


令和2年度
令和2年1月に行った公開授業研究会の様子をまとめています。



令和3年度
令和3年2月に行ったオンラインによる公開授業研究会の様子をまとめています。

校舎図



校歌

一、瀬戸のさざりに 燃えてくる
あかねの雲に 胸はって
希望も高く すすみゆく
ああ わが光附属校
波もはるけく 清らかに

二、みどりの風の 吹いてくる
海辺の窓に 寄りそって
学びの道に はげみあう
ああ わが光附属校
松もそなれの たくましく

三、見ようるわしい ふる里の
峨嵋の山もと 色映えて
文化の花を 咲かすのだ
ああ わが光附属校
とわに歴史も かぐわしく

校歌

作詞 原田奈美 補作 岡田岩吉
旋律 藤山康宏 補修編曲 鶴岡義雄



大正 10 年頃の校舎

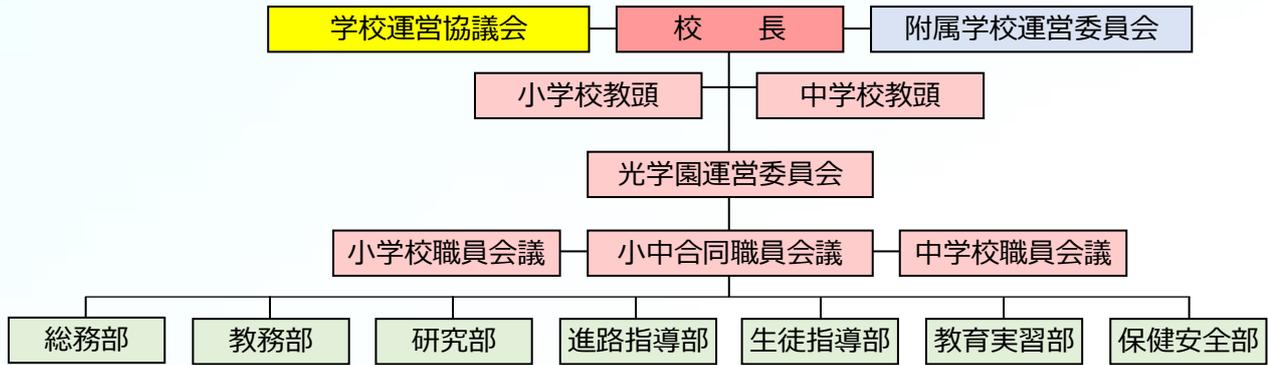


昭和 30 年頃の校舎

沿革

●小学校の沿革	●中学校の沿革
大正 4 年 山口県室積師範学校附属小学校開校	昭和 2 2 年 山口師範学校女子部附属中学校開校 (学制改革)
大正 9 年 山口県女子師範学校附属小学校に改称 第 1 回女子教員研究大会を開催	昭和 2 3 年 附属小・中学校育友会創設
昭和 1 6 年 山口県女子師範学校附属国民学校に改称 (国民学校令施行)	昭和 2 4 年 山口大学山口師範学校附属光中学校に改称 (新制山口大学)
昭和 1 8 年 山口師範学校女子部附属国民学校に改称 (学校統合)	昭和 2 6 年 山口大学教育学部附属光中学校に改称 (山口師範学校廃止) 新校舎竣工 (現室積小学校位置)
昭和 2 2 年 山口師範学校女子部附属小学校に改称 (学制改革)	昭和 2 7 年 第 1 回中等教育研究発表大会を開催
昭和 2 4 年 山口大学山口師範学校附属光小学校に改称 (新制山口大学)	昭和 3 2 年 山口大学教育学部光分校の統合、現在地に移転
昭和 2 6 年 山口大学教育学部附属光小学校に改称 (山口師範学校廃止)	昭和 3 5 年 現在の校歌制定
昭和 3 0 年 複式学級編成	平成 8 年 中学校創立 5 0 周年記念式典を挙げる
昭和 3 2 年 山口大学教育学部光分校の統合	平成 1 6 年 国立大学法人化、小中連携教育開始
平成 2 8 年 小学校創立 1 0 0 周年記念式典を挙げる	平成 3 1 年 校長常勤化
●光学園 (小中一貫校) の沿革	
平成 3 0 年 附属光学園を通称として、小中一貫校に移行	
平成 3 1 年 学校運営協議会設置 (コミュニティ・スクールへ移行)	
令和 2 年 小中学校長常勤化 (兼務)	

職員組織表



● 小学校教職員

職名	氏名	教科	担任等	主任
校長	森本 忠寿			
教頭	河村 泉	中家庭科		総務主任
教諭	兼安陽一朗	算数科	専科	教務主任
教諭	有田 友萌	国語科	1年1組	
教諭	池永真依子	道徳科	1年2組	
教諭	田中 章憲	国語科	2年1組	研究主任
教諭	徳永 真衣	生活科	2年2組	
教諭	宮崎 洸佑	理科	3年1組	
教諭	木田 雅大	体育科	3年2組	
教諭	山本 東建	算数科	4年1組	教育実習主任
教諭	大塚 進真	総合的な学習の時間	4年2組	進路指導主任
教諭	池内 達也	図画工作科	5年1組	生徒指導主任
教諭	坂本真友香	家庭科	5年2組	
教諭	千々松哲大	社会科	6年1組	保健安全主任
教諭	石津友美恵	外国語科	6年2組	
教諭	森山 浩子		専科	
教諭	西岡 祐子	外国語科	(育休)	
養護教諭	酒谷 舞			
栄養教諭	野村 祥史			
教諭補助員	金谷 則子			
教諭補助員	三好みゆき			
教諭補助員	宮内 孝江	外国語科		
教諭補助員	佐々木美智留			
非常勤講師	中野 陽子	音楽科		
非常勤講師	田畑奈津枝	図画工作科		
A L T	ショーナ・ホール	外国語科		
A L T	モニカ・メサイト	外国語科		
図書館司書	澄川 治江			
スクールカウンセラー	南 奈美			
相談員	榎野 統胤			
事務補佐員	奥藤由香利			

● 中学校教職員

職名	氏名	教科	担任等	主任
校長	森本 忠寿			
教頭	江藤 弘康	国語科		総務主任
教諭	貞安 菜央	国語科	2年3組	
教諭	守田 朋代	国語科	1年(副)	
教諭	吉岡 友子	社会科	3年2組	進路指導・学年主任
教諭	渡部倫太郎	社会科	2年(副)	
教諭	吉村 直樹	数学科	3年(副)	生徒指導主任
教諭	竹坂 豊	数学科	2年2組	研究主任
教諭	米村 崇	理科	3年1組	保健安全主任
教諭	藤永 啓吾	理科・道徳科	2年1組	学年主任
教諭	木本 恭子	英語科	3年(副)	
教諭	梅田 彩味	英語科	1年2組	教育実習主任
教諭	白地めぐみ	音楽科	1年1組	学年主任
教諭	中村 賢太	美術科	1年3組	
教諭	高木菜満恵	保健体育科		教務主任
教諭	瀬尾 優治	技術科	3年3組	生徒会担当
養護教諭	吉田奈々恵			
教諭補助員	原田 涼太	社会科		
教諭補助員	宮本 瑛周	数学科		
教諭補助員	松本 拓海	理科		
非常勤講師	市原 大幹	保健体育科		
非常勤講師	佐々木美智留	英語科		
A L T	ジェイク・シバ	英語科		
A L T	ロバート・メイ	英語科		
スクールカウンセラー	南 奈美			
相談員	榎野 統胤			
事務補佐員	岩見 栄子			

● 学校医・学校薬剤師

職名	氏名	職名	氏名
校医(内)	竹中 博昭	校医(歯)	國近 豊
校医(眼)	梶原 淳	校医(耳鼻)	前田 昇一
薬剤師	大戸富美子		

● 光附属学校係

職名	氏名	職名	氏名
係長	藏野 祐二	事務補佐員	河野 薫
事務職員(育休)	山本 保子	臨時用務員	南 幸恵
事務職員(育代)	兼重亜紀乃		
給食調理員	井内 洋子	給食調理員	村上由紀子
給食調理員	藤井 利恵	給食調理員	倉重 恵
給食調理員	河口 洋子	給食調理員	藤岡 史恵
給食調理員	山崎 友美	給食調理員	田中 恵美

● PTA組織

